

2016年10月25日

サービス連合「メニュー表示適正強化月間」に向けた談話

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 森 啓記

サービス連合は、2013年に宿泊業で発生した一連の食品表示問題をうけて、2014年7月に課題を抽出するとともに、再発防止策を盛り込んだ「サービス連合 食品表示問題に関する報告」を取りまとめました。この間、提供者・消費者の立場から再発防止にむけた意識向上に努め、毎年11月を「メニュー表示適正強化月間」と定めて、加盟組合全体で取り組むこととして労使で互いに啓発し合い、情報を共有するとともに、観光庁や業界団体に対して取り組みの理解を求める取り組みを行っています。

この取り組みは、メニュー表示問題が産業の将来を脅かしかねない問題であり、当事者自らが問題を決して風化させることが無いようにとの私たちの強い思いであり、継続的な取り組みを確認し進めています。

本年のサービス連合の取り組み準備を進めていた矢先に、加盟組合ではないものの宿泊施設における産地偽装の報道がありました。誠に遺憾であり、消費者からの信頼回復に全力を挙げる必要があります。

私たちは、「メニュー表示適正強化月間」の取り組みの意義と重要性を再認識するとともに、加盟組合とともに、絶対に再発させてはならないという思いを共有し取り組みを進めていきます。

以 上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>